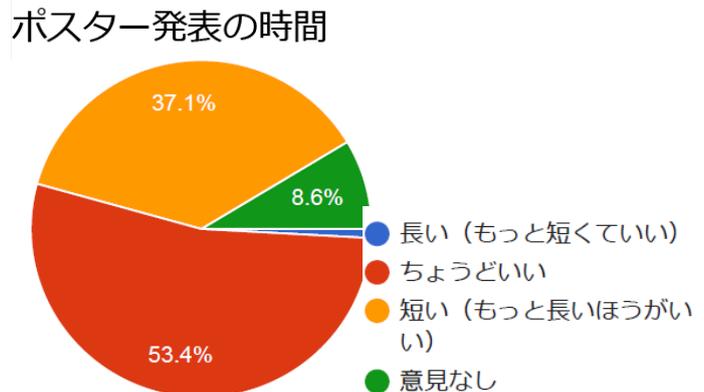
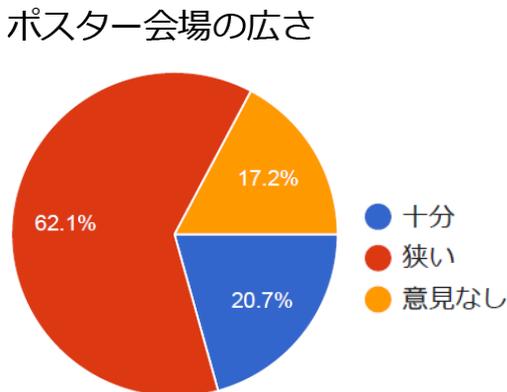
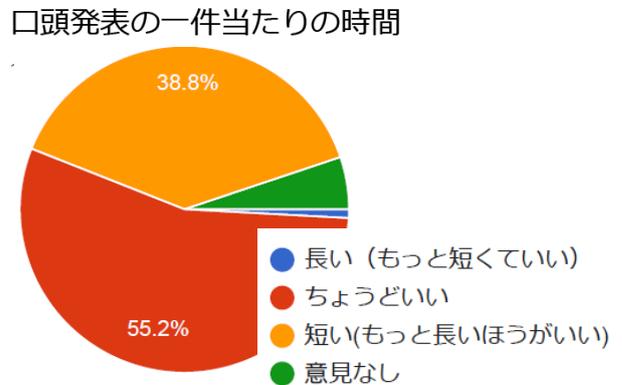
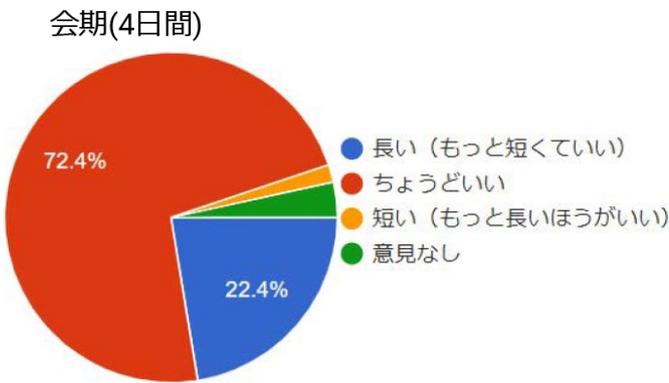
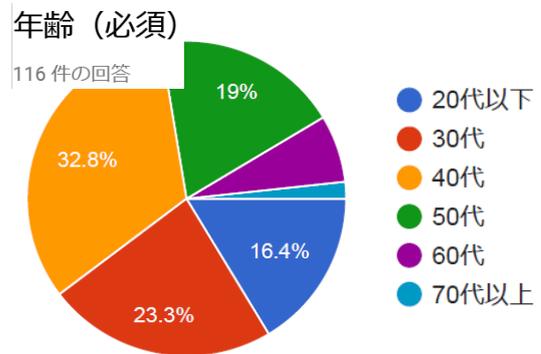
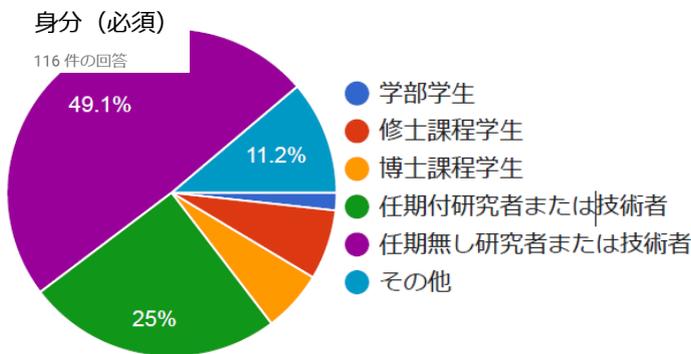


2018 年秋季大会アンケート結果の報告

2019 年 5 月 18 日 日本気象学会 講演企画委員会

当委員会では、2018 年秋季大会参加者を対象に Web サイトでのアンケートを実施しました。その結果を報告します。自由記述については、まとめの報告とさせていただきます。結果は今後の大会運営等に活かすほか、学会理事会、本大会、次回大会の実行委員会や、大会を担う各支部の理事会にもお伝えしております（そちらには全てのご意見を含むファイルを送付しています）。ご協力いただいたみなさま、ありがとうございました。

必須の選択式設問



大会会場ならびに運営全般について



まとめ

- 身分 任期無し研究者または技術者が5割（前回、前々回、前々々回は4割、5割強、4割：以下、カッコ内は同様）。
- 年齢 40代が3割（3割、5割、3.5割）。50代、30代と続く。
- 会期(4日間) ちょうどよいが7割（6割、7割強、6割強）、長い（もっと短くていい）が2（3割、2割強、2割強）、短いという意見はわずか。
- 口頭発表の一件当たりの時間 ちょうどいいが6割弱（8割、8割弱、6割弱）、短い4割（5%、2割、3割）、長いはずか（1割弱、わずか、わずか）。
- ポスター会場の広さ 十分が2割（7割、1割、4割）、狭いが6割（1.5割、8割、4割強）
- ポスター発表の時間 ちょうどいいが5割（8割弱、5割強、6割）、短い1割、長いはずか。
- 大会会場ならびに運営全般について 満足が6割（8割、6割、6割）、改善すべき点があるが約1割強（5%、3割、3割）。

今大会では、一人当たりの口頭発表の持ち時間が11分（質疑込み）で、前々回(12分)と同程度で過去最高だった前回（17分）より短くなりました。自由記述からも過去より一貫して、発表時間は15分程度が良いとの声が多くあり、満足度の変化はそれを反映してるようです。今回のポスター会場はやや狭かったようです。ポスター発表の時間は、選択式アンケートではちょうどいいが5割ですが、自由記述では短いという意見が複数ありました。大会運営は過去の大会同様概ね満足されたようです。

自由記述欄に寄せられたご意見のまとめ

● 口頭発表時間の取り方について（回答34件）

発表時間は15分程度が良いとのご意見が複数ありました。毎回同じ時間（例えば15分）に固定すべきとの意見もありました。

● ポスター会場について（回答43件）

コアタイムの回数が2回と少なかったの意見や、一日中貼っておけると良いなどの意見がありました。他に会場やレイアウト、運営等に関する様々なご指摘が寄せられました。

● 大会会場・運営全般について（回答 39 件）

全般に良かったという声が多数ありました。様々な具体的な改善意見も寄せられました。

● 大会全般（今大会に限らず）について（回答 34 件）

春季大会は、日本地球惑星科学連合(JpGU)と合流したほうが良いという意見や、今大会時よりはじまった小倉レクチャーを評価する声が複数寄せられました。

自由記述では、いずれの項目でも具体的な改善案や今大会について気になった点に関する話が多数寄せられました。各実行委員会に引き継ぎます。JpGU との関係等，理事会でも議論して頂いております。

アンケートへのご協力，誠にありがとうございました。講演企画委員会では，皆さんのご意見をもとに改善に努めてまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。